

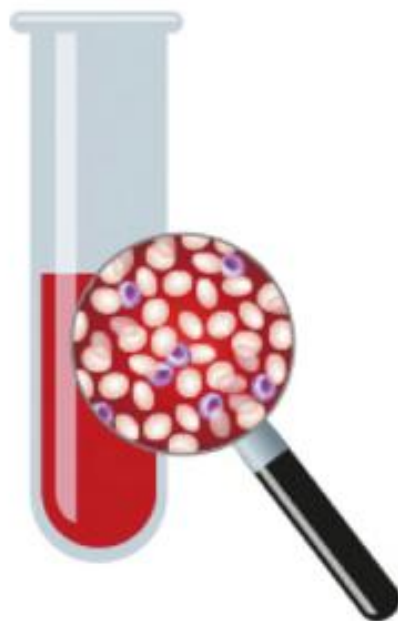
# リキットバイオプシーと大腸内 視鏡検査について

—大腸がんに対する新たなアプローチ—

2mL の血液で大腸癌を診断できる可能性を示した臨床研究の成績が台湾より報告されました。



研究では、CMxと呼ばれるわずかな血中循環腫瘍細胞（CTC）を捕捉可能なアッセイを用いた結果、同検査の特異度は97.3%。感度（77-87%）を含めた検査の正確性は84-88%で、便潜血検査の正確性を上回ると推定されました。



今後、大腸内視鏡検査と組み合わせることにより、大腸がんの診断に威力を発揮することが期待されています。



わずかな血液で癌を診断する方法は、**リ  
キットバイオプシー**と呼ばれ、大腸癌以外の  
のさまざまな癌にも応用が期待されてい  
ます。

